



愛媛県今治市大三島町宗方【大三島 OHMISHIMA】 © Shinichiro Kobayashi

# 島波瀬戸内景

Shimanami Setouchikei  
Shinichiro Kobayashi Photo Exhibition

## 小林伸一郎写真展第二章

2011年3月19日[土] ▶ 5月8日[日]

- 開館時間 9:00～17:30 (入場は17:00まで)  
月曜日休館 (祝日の場合は翌火曜日・ただし5/2(月)開館 5/6(金)代休)
- 観覧料 一般 700円 / 大学生 500円 / 中学・高校生 400円 / 団体・前売り 500円  
(前売券発売所 / なかた美術館・啓文社主要各店)

主催：なかた美術館  
後援：広島県 / 広島県教育委員会 / 愛媛県 / 愛媛県教育委員会 / 尾道市 / 尾道市教育委員会 / 尾道ケーブルテレビ株 / 尾道エフエム放送 / エフエムふくやま / 萩山陽日日新聞社 / 萩啓文社 / 萩講談社 / マミヤ・デジタルイメージング株  
協賛：海フェスタおのみち～海の祭典2011尾道・福山・三原～



なかた美術館

TEL.0848-20-1218 広島県尾道市瀬見町6番11号  
<http://www.nakata-museum.jp/>



# 島波瀬戸内景

Shimanami Setouchikei  
Shinichiro Kobayashi Photo Exhibition

## 小林伸一郎写真展第二章

写真家小林伸一郎は大学在学中に写真の世界へ入り、広告、エディトリアルな撮影をするかたわら、自らの写真表現を追い求め旅を続けてきました。1991年、東京湾岸の激変する風景を収録した写真集『Tokyo Bay Side』を出版。湾岸の工場、倉庫が取り残され廃墟になる光景、一方で巨大構造物が完成へと向かう形状、両者をアーティストックに切り取ったドキュメンタリーとアートが融合した完成度の高い作品として注目されました。また、全国の廃墟をモチーフに、朽ちていく美を個性的な色彩と精緻な描写で多くの人を魅了した廃墟シリーズなど、日本の景観を独自のテイストで捉え势力的に活動しています。2008年秋、当館で開催した「写真展第一章 海人1977~1988」は、二十歳代前半から巡り歩いた島や名もない岬、海辺に生きる人達をみずみずしい感性でフィルムに収めた、小林の原点といえる未発表モノクローム写真を展示いたしました。そして今回、「写真展第二章 島波瀬戸内景」は、小林がはじめて瀬戸内を訪れてから三十数年の歳月を経て再訪の旅を尾道からスタート。風光明媚な観光地や由緒ある寺社仏閣へレンズを向けるより、むしろ見過ごしてしまいそうなシーンを大切に拾い上げています。それらの写真は、被写体と正面から対峙し、的確に視覚表現している近年の作品とは一見趣が異なるように感じますが、画面からあふれる印象的な光と鮮やかな色彩が織り成す構成は、様々な被写体との出会いで培ってきた感覚が結実されています。長い時間の経過で変わってしまった島の情景、遠い昔に歩いた海辺の記憶。過去と現在が重なり合うことにより生まれる新たな視線で撮りおろした、オリジナルカラー作品100点を展示いたします。

### 小林伸一郎 Shinichiro Kobayashi

1956年東京都生まれ。専修大学経済学部卒業。スタジオ、出版社を経て1988年(株)スタジオライズを設立。1991年準太陽賞、1994年コニカ写真奨励賞、1997年東京国際写真ビエンナーレ・キャノン賞、2007年講談社出版文化賞を受賞。1991年から日本のスクラップ&ビルドをテーマにした作品を発表。主な写真集に、変貌する東京湾岸、建設途中の高速道路やダムの景観を捉えた『Tokyo Bay Side』『JAPAN NEW MAP』、廃墟をモチーフにした『廃墟遊戯』『廃墟漂流』『NO MAN'S LAND 軍艦島』『亡骸劇場』『最終工場』を出版。写真展を開催している。近年は『シャネル銀座ビル』『東京ディズニーシー』『HACHINOHE CITY』など、ピンポイントでビジュアル表現する撮影依頼が続き、新しいクリエイティブな世界を広げている。



A 広島県尾道市 尾道駅前渡船 【尾道 ONOMICHI】  
B 愛媛県松山市治町 由良岬 【関原島 GOGOSHIMA】  
C 兵庫県神戸市東灘区東灘 家島港 【家島 HESHIMA】  
D 広島県大崎上島町東野 住吉祭花火大会 【大崎上島 OHSAKIKAMIJIMA】  
E 広島県尾道市瀬戸田町萩五本松 【土口島 IKUCHIJIMA】



写真集『島波瀬戸内景』発行：講談社  
2011年2月22日 全国書店販売  
定価：3780円(税込)  
A4変形 140ページ 掲載写真139点

### 【企画関連イベント】

- 作家によるギャラリートーク  
日時：2011年3月19日(土)  
14:00~15:00  
参加費：無料  
(ただし観覧券が必要です)

- トークイベント、ワークショップ、尾道をめぐる撮影会開催予定。決定次第、美術館ホームページでお知らせいたします。

### 【アクセス】

- 新幹線ご利用の場合 新尾道駅より  
お車 約7分  
中国バス(桜土手經由山陽本線尾道駅行き) 又はおのみちバス(因島・土生港行き) 約10分
- 在来線(山陽本線)ご利用の場合 尾道駅より  
徒歩 約15分 お車 約3分  
中国バス(桜土手經由の全便) 又はおのみちバス(桜土手經由新幹線新尾道駅行き) 約5分
- 駐車場20台有り

### 【予約問合せ】

なかた美術館  
TEL: 0848-20-1218  
広島県尾道市潮見町6番11号  
<http://www.nakata-museum.jp/>

Nakata Museum Art Gallery of Nakata Mac Corporation  
6-11, Shiomi-cho, Onomichi-shi, 722-0012 JAPAN  
Tel.: 0848-20-1218  
URL: <http://www.nakata-museum.jp/>

